

中富良野町校務 DX 計画

児童生徒 1 人 1 台端末導入後、学習用アプリケーションや学習 e ポータル等を活用し、教育のデジタル化を進めてきた。また、教職員間においては、Google ワークスペース等を活用し、伝達事項や各種資料をデジタル化して共有している。さらに保護者とのやり取りにおいても、メール連絡網サービス等を活用するなどデジタル化を進めてきた。

今後、校務 DX を推進するために「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、具体的な取組みを次とおり設定する。

1. 校務支援システムのクラウド活用

令和 7 年度よりクラウド型校務支援システムを導入し、教職員等の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を可能とする環境を構築するため、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況を注視しつつ、教職員等と学校現場における課題・ニーズの情報共有を図るなど、次世代の校務デジタル化に向けた校務系ネットワーク・システム等の現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討を行う。

2. 校務における生成 AI 等の活用

先進的に実践している学校や自治体を参考にしながら、校務での利活用を推進していく。